

令和4年度 天童市学習支援室リバテラスちえふる

通信「ちえふる」12月号



「有言実行」について

サッカーワールドカップカタール大会に出場した日本は、初の8強入りこそ逃しましたが、優勝4度の強豪ドイツを2-1で破る大金星を挙げました。さらに、優勝候補の一角のスペインからも2-1で勝利し、決勝トーナメント進出を決め、世界を驚かせました。どちらの試合も相手国から前半に1点を先制される苦しい展開となりましたが、粘り強く戦い、後半に逆転のゴールを決め、16強入りを果たしました。

ドイツ戦、スペイン戦双方の試合で同点ゴールを決めた堂安律選手が試合終了後に次のように話していた言葉が心に残っています。



ドイツ戦 :「俺が決める、俺しかいないって強い気持ちでピッチに入った。」

スペイン戦 :「あれは俺のコース。あそこでフリーにさせると『堂安律は危ない』と分かってください。」

それぞれの言葉だけを切り取れば、大口をたたいているように聞こえます。しかし、堂安選手の「人となり」を知っている人は、強い信念と自信に満ちた彼の本気度を示す適確な言葉であることを容易に理解できたと思います。

試合後、マスコミも彼の言葉を取り上げ、「有言実行」できる素晴らしいサッカー選手であると賞賛していました。

今回の偉業を成し遂げた堂安選手から、是非、学びたいと思ったことは、有言実行できる人になるためには、どのような力を身に付ける必要があるか、ということです。

堂安選手の今日までのサッカー人生は、決して順風満帆ではなく、3回の逆境を乗り越えてきたそうです。

逆境その1：小学4年の時、セレッソ大阪の下部組織のメンバーのセレクションを受けて落選し、大きな挫折を経験。

逆境その2：J1リーグのガンバ大阪に入団後、オランダのチームに移籍したものの、体格の違いに「体の壁」を痛感。

逆境その3：ワールドカップアジア最終予選のメンバー選出に落選し、再び逆境を経験。

いつしか堂安選手は、自身のツイートで「逆境大好き人間頑張りまーす！」と伝えています。今年6月にワールドカップの代表復帰を果たしましたが、「落選は時間が経って考えると、ありがたくて頭をリセットできた」と話しています。

逆境と遭遇するたびに、私たちの想像をはるかに超える努力をし続け、逆境に打ち勝ってきたからこそ堂安選手の偉業は、言葉通りとなって結実したのだと思います。

達成しようとする具体的な目標をもつこと、逆境に耐え、乗り越えるために具体的に行動を起こすこと、努力を惜しまず続けること、諦めない心、それらの積み重ねにより有言実行できる力は育まれていくのではないのでしょうか。



学習相談会を開催します

冬休みの宿題や受験対策などにお役立てください。小学生から高校生まで、どなたでも申し込みができます。相談にのってくれるのは、夏季学習会の時と同じ大学生の方です。詳しくはチラシをご覧ください。

学習支援室の情報については、QRコードからもアクセスしますので、ご覧ください。

